

興福寺の五重塔を望む、 プレミアムな舞台で綴る麗しい結婚式

2015年7月、猿沢池のほとりに誕生した「KOTOWA 奈良公園 Premium View」。

興福寺の五重塔を望む自慢のロケーションが彩る感動のパーティを提案。

奈良の魅力を生かした、オリジナルウェディングをここで叶えよう！

取材文／柴山小枝 撮影／田村和成





Point 1 借景は奈良! これぞ古都の 結婚式

[KOTOWA 奈良公園 Premium View]が佇む猿沢池の周りは、悠久の歴史と伝統が息づく場所。興福寺・五重塔など、由緒ある歴史的建造物と一体化した景観は、誰もが知っていて懐かしい気分させられる。奈良駅からのアクセスも良く、1,300年間受け継がれてきた眺めと古都の風情がゲストを出迎えてくれる。それは、奈良でこそ実現できるおもてなしのひとつ。変わらない景色とともに幸せな思い出を記憶に留めてもらうために、バンケットやラウンジも眺望が一番に考えられている。

最大天井高12mのチャペルは、二人を祝福するかのよう天から降り注ぐ光の演出が素敵。キリスト教式はもちろん人前式も可能。茶色ベースのバンケット「AKATSUKI」は和テイストのコーディネートが人気。



2階のバンケット(披露宴会場)からは猿沢池や興福寺・五重塔が間近に望める。テラスから新郎新婦がサブリザード入場をするといった演出も可能なのだとか。写真は白を基調にしたバンケット「SHUKA」。

最大天井高12mのチャペルは、二人を祝福するかのよう天から降り注ぐ光の演出が素敵。キリスト教式はもちろん人前式も可能。茶色ベースのバンケット「AKATSUKI」は和テイストのコーディネートが人気。



リングステージが今、話題になっている。

新郎・新婦のこだわりと奈良の魅力を結ぶ、新しいウェディングのスタイル。鎌倉や京都などの歴史的地区で「日本のおもてなし」をコンセプトにゲストハウスウェディングを手がける「KOTOWA」。古都・奈良に「KOTOWA」をオープンしたきっかけは、「奈良らしい猿沢池のほとりという最高のロケーションとの出会い」と「KOTOWA」を運営するディアーズ・ブレインの小岸弘和社長は言う。「私は奈良出身で、奈良在住の方が地元で結婚式を挙げる割合はたった約30%というウェディング事情を憂っていました。久しぶりに猿沢池へ来た時に、奈良の魅力のアピールできればもっと奈良で結婚式を挙げるカップルが増えると直感したのです」。猿沢池や興福寺の五重塔を借景に、由緒ある古都の景色が心に刻まれるよう、バンケットは見晴らしのいい2階に。もちろんプロジェクションマッピングなどの最新の演出も導入されている。奈良の多彩な特産品や食材を集め、新郎・新婦のこだわりにも対応してくれる。そんな、奈良らしさと斬新さを兼ね備えた新しいウェディングステージが今、話題になっている。

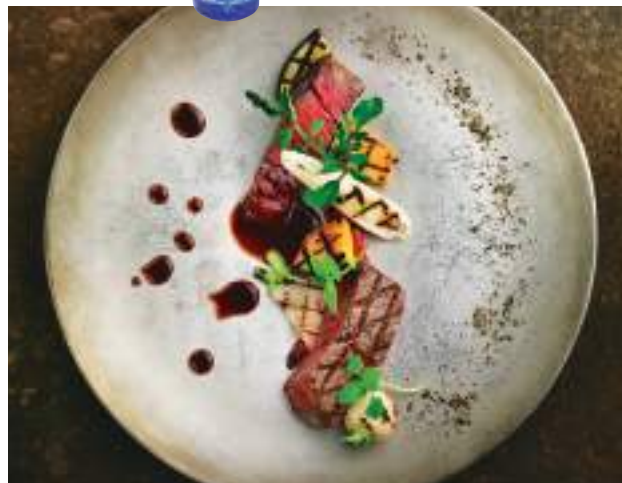


猿沢池のほとりという最高のロケーションとの出会い」と「KOTOWA」

Point 2 地元・奈良で おもてなし

オリジナリティにあふれた二人だけの結婚式の演出として用意されたのが、奈良の食材や特産品。歴史ある奈良で育まれた品々は磨きぬかれた逸品ぞろい。例えば、婚礼料理のフレンチでは大和野菜や奈良漬などを取り入れた大和キューブを提案。引き出物や引き菓子には、「奈良筆あかしや」の竹筆や「奈良豊澤酒造」の日本酒、「三輪そうめん山本」の三輪そうめん、「天極堂」の吉野葛など、奈良を代表する老舗の名産品も。ここでしか実現できないおもてなしは、ゲストが奈良に触れることができ、深く印象に残るはず。

大和牛などの県産食材を使ったフレンチコースは、乾杯酒も「奈良豊澤酒造」の日本酒ベースのスパークリング「貴仙寿 碧(あおい)」。引き出物も蚊帳生地「ふきん」や竹筆(奈良筆)、万年毛筆など、奈良のアイテムが人気。



KOTOWA 奈良公園 Premium View



●奈良市今御門町15
☎0742-25-4122
12:00AM~8:00PM
(土・日・祝日は10:00AM~)
火・水曜休
<http://kotowa-narakouen-premiumview.jp>